

令和2年 第3回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	響（ひびき）	8番	玉 木 実	登壇一問一答方式
2	新 政	13番	海老原 作 一	登壇一問一答方式
3	公 明 党	3番	藤 江 研 一	一 問 一 答 方 式
4	日 本 共 産 党	5番	伊 藤 真 一	登壇一問一答方式
5	至 誠	15番	藤 代 武 雄	登壇一問一答方式
6	創 進	17番	松 尾 榮 子	登壇一問一答方式

響（ひびき）

質問者 8番 玉 木 実

1 ゴミ減量化について

- (1) 過去5年間の計画と実績の誤差はあるか
- (2) どのような取り組みをされてきたのか
- (3) 現状分析と問題点は
- (4) 新たに稼働する「印西地区衛生組合新方式ディスプレイ方式」は減量化に効果があるか

2 印西市所有の財産活用

- (1) 永治小学校や本埜第二小学校等の使われていない建物について
- (2) 広大な空き地の活用
- (3) 7月に購入された日本デキシー跡地は「木下地区の賑わいの再生をうながす」とはどのような活用を考えているのか
- (4) 市民一人当たりの公園敷地面積は広いが、本当に市民が潤う公園として活用しているか

3 JR成田線と北総鉄道の利便性向上と高運賃是正対策は

- (1) JR成田線の便数増便に向けて、どのような活動をしてきたのか
- (2) 北総鉄道の利便性向上のためにどのような活動をされたのか
- (3) 北総鉄道の高運賃是正問題にはどのように対処されたのか

4 今騒がれておるコロナ対策について

「いつでも、どこでも、誰でも」不安な住民が気軽に受診できる世田谷方式が理想だろうが、個人で受診すると2万円～4万円かかるPCR検査を印西市としても医療崩壊やクラスターを起こさせないためにも、医療関係者、学校関係者、福祉関係者等がいつでも無料でPCR検査を受けられるよう印西市が検査費用を負担できないか

- (1) 印旛市郡医師会と話し合う機会を作れないか
- (2) 医療関係者、福祉関係者、学校間関係者の総数はどのくらいの人数になるか

新 政

質問者 13番 海老原 作 一

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (1) ひとり親家庭への生活支援について
 - (2) 新型コロナウイルスに対応した避難所運営を行うための必要な資機材の整備について
 - (3) 附属機関の会議の開催について
 - (4) 学校現場への人的支援について

- 2 防災対策と防災拠点の機能強化について
 - (1) 災害時の避難所等の電源確保手段の多重化について
 - (2) 災害用トイレの充実について
 - (3) 松山下公園へのアクセス道路整備について

- 3 子育て支援策の充実について
 - (1) 出産・子育て相談センター（ネウボラ）の設立について
 - (2) 小中学校に在学する第3子から給食費の負担をなくす件について

- 4 高齢者の健康増進支援について
 - (1) いんざい健康ちょきん運動の拡大について
 - (2) 地域包括ケアシステムの構築について
 - (3) 高齢者の補聴器購入に対する一部助成について

- 5 地域の文化、芸術支援について
 - (1) 有形、無形の文化財の保護について
 - (2) 地域文化、芸術の活動支援について

- 6 地域の利便性の向上や賑わいの場を創出するまちづくりの推進について
 - (1) 千葉ニュータウン中央駅南側のUR跡地の複合施設整備について
 - (2) 木下駅南側のデキシー跡地の活用について
 - (3) 北総線の高運賃の是正と利便性の向上について

公 明 党

質問者 3番 藤 江 研 一

- 1 防災・減災対策、災害対応力の強化について
 - (1) 高齢者施設等の避難の課題と対応
 - (2) 公立小中学校・体育館へのエアコン設置の検討状況
 - (3) 自治体と東京電力パワーグリッドの協定締結
 - (4) 避難勧告と避難指示の統合
 - (5) 防災メールによる外国語配信
 - (6) 支流の土砂除去
 - (7) 災害対応へのドローンの活用
 - (8) 可能な限り多くの避難所開設
 - (9) 感染予防用消耗品、災害応急対策資機材の整備状況と課題
 - (10) 災害時避難マニュアル、避難所レイアウト等の改訂状況と課題
 - (11) 改訂を踏まえた避難所設営訓練・研修の実施状況と課題
 - (12) 分散避難の定着
 - (13) マイタイムライン、コミュニティタイムライン作成の早期取り組み

- 2 ウィズコロナ・アフターコロナ時代のまちづくりについて
 - (1) 各種支援制度の実施状況と今後の課題
 - ① 特別定額給付金
 - ② 国の子育て世代への臨時・特別給付金
 - ③ 市独自の子育て世代への臨時・特別給付金
 - ④ 中小企業等緊急支援給付金
 - ⑤ いんざい応援クーポン
 - ⑥ 地域医療支援
 - (2) 医療分野の対策実施状況と課題
 - ① ドライブスルー型PCR検査の実施状況と課題
 - ② パルスオキシメーターの備蓄と軽症・無症状感染者への貸与
 - ③ オンラインによる医療支援などの強化
 - (3) テレワーク環境の整備と支援
 - (4) 事業継続支援
 - (5) 学校教育への影響
 - ① 児童・生徒1人1台のタブレット型パソコン
 - ② ストレスについて学ぶ授業の実施
 - ③ 修学旅行の実施

- ④ALT（外国語指導助手）の受入
- （6）新しい生活様式への適合と企業誘致
- （7）押印慣行の見直し、デジタル化促進
 - ①マイナンバー制度の推進
 - ②国勢調査の改善
 - ③書面・押印・対面業務の見直し
- （8）使用済マスク専用ゴミ袋の配布

3 子育て安心社会の実現について

- （1）待機児童問題
- （2）児童相談所の誘致
- （3）子育て支援の拡充
 - ①多胎児家庭の負担軽減
 - ②夫婦向けミーティングシート
- （4）子どもの貧困対策
 - ①国が実施した所得の低いひとり親世帯への臨時特別給付金
 - ②子どもの学習支援
- （5）スマホの中学校持ち込み

4 誰一人取り残さない福祉と健康づくりについて

- （1）地域公共交通・移動手段の拡充と利便性向上
 - ①シルバーパスの申込み・交付状況、利用状況
 - ②シルバーパスの申請方法改善
 - ③市内で運行する民間バスへのシルバーパスの利用拡大
- （2）認知症の行方不明者対策
- （3）高齢者の見守り支援
- （4）生活保護申請
- （5）社会福祉法改正内容の市での検討状況

5 SDGs（持続可能な開発目標）について

SDGsの17個のマークを市広報紙、各種チラシ・ビラ、ホームページ掲載情報に貼り付けて活用できないか

6 投票率向上のための期日前投票所の増設について

日本共産党

質問者 5番 伊藤 真一

1 GIGAスクール構想について

先の8月臨時議会において、児童・生徒1人ひとりにPC1台配置の議案が可決されました。そもそも文科省の審議会は16年「全面的な導入を拙速に進めることは適当ではない」と報告しています。強引な動きの背景には、公教育への参入を目指す民間教育産業の存在があります。もともと日本共産党は「GIGAスクール構想」に全面的に賛成ではありませんが、コロナ禍での休校に備え当面の課題を整理したいと考えます。

- (1) 全家庭への通信費公費負担の考えについて伺います
- (2) ICT支援員の全校1人配置の考えについて伺います
- (3) ICTが苦手な教員への対応について伺います
- (4) PC等の経年劣化後の負担を国に求めていく考えについて伺います

2 コロナ禍での避難所と学童保育について

今年も台風シーズンが近づいてきましたが、避難所と学童保育所の対応に市民が心配しておりますので確認します。

- (1) コロナ対策に対応した避難所をどの様に考えているのか伺います
- (2) コロナ対策として、避難所に医療班を設けるべきと考えますが伺います
- (3) ハザードマップ作成の進捗状況について伺います
- (4) 学童保育所でのコロナ対策は、どの様になっているのか伺います
- (5) 学童保育指導員の勤務対策についての考えを伺います

3 国保税滞納世帯に対する市の対応について

事前に「限度額適用認定証」の交付を受けていれば、病院の窓口での支払いを自己負担限度額までにおさえられます。国保税を滞納している場合には、入院や外来で高額な医療費がかかった時、「限度額適用認定証」を交付されない場合があります。

- (1) 市での現状はどの様になっているのか伺います
- (2) 滞納があっても「限度額適用認定証」を交付すべきではないのか、考えを伺います
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、資格証明書から短期保険証にすべきではないのか、考えを伺います

4 高齢者への補聴器補助について

市長の選挙公約に、補聴器補助に取り組むとされていましたが、どの様なものとなるのかについて伺います

至

誠

質問者 15番 藤代武雄

1 危機管理対策について

- (1) 令和元年に発生した大型台風及び豪雨災害の検証と課題
- (2) 危機管理対策の現状と課題
- (3) 危機管理対策の一元化

2 地域差のない均衡あるまちづくりについて

- (1) 地域差の現状と課題

3 地域資源の活用と産業振興について

- (1) 農業・商工業への支援
- (2) 関係団体との連携
- (3) 観光資源としての活用策

4 印西市における教育の方向性について

- (1) 学校教育の現状と課題
- (2) 生涯学習の現状と課題
- (3) 文化芸術の現状と課題
- (4) 広報活動の推進

創 進

質問者 17番 松尾 榮子

1 「ウイズ コロナ」時代の諸施策について

かつてない新型コロナウイルスの全国的な感染拡大の中で、市民の日常生活が大きく様変わりしています。こうした中で、安全に配慮しつつ、健康で文化的な市民の生活を守っていくために、必要な施策をどのように実施していくか、考えを伺います。

- (1) 今年度中止予定の大規模行事について
- (2) 市内経済等への影響の把握と対応について
 - ①市内商工業者等
 - ②市内農業者等
 - ③市内医療機関等
- (3) 高齢者福祉について
 - ①独居高齢者世帯等への対応
 - ②いんざい健康ちょきん運動等高齢者の集いの場について
- (4) 学校教育への影響と対応について
 - ①授業時数
 - ②ICT教育環境の整備と取り組み状況
 - ③部活動等の実施状況
- (5) コロナ禍時代の健康づくりについて
 - ①検診事業
 - ②市民スポーツ
- (6) コロナ対策と市財政への影響について

2 印西市総合計画について

板倉市長は、8月7日開かれた臨時議会冒頭で、「山積する課題に真正面から取り組み、ようやく花を咲かせ、実を結ぼうとしている千葉ニュータウン事業の完遂を見届け、これから50年、100年と発展を続ける輝かしい印西市の礎を築きたい」と3期目にあたっての所信を表明されました。

市長もご指摘の通り、昭和50年台から平成、令和にかけての印西市は、千葉ニュータウン事業の進展と共に急激に成長し、ここ数年でようやく、全国からも注目を浴びるほどの花を咲かせ、実を結ぼうとしているところです。

令和3年度から10年間のまちづくりの最上位計画となる印西市新総合計画は、千葉ニュータウン事業が終了して初の新規の総合計画であり、これまで数十年をかけて大きく花開いてきた市の発展を、今後も持続させていくの

か、それとも途中で勢いを失わせてしまうのかは、この総合計画にかかっているといえるほど重要であると思います。そこで伺います。

- (1) 進捗状況
- (2) 土地利用基本構想について
- (3) 地震、台風等の災害や、コロナ禍に伴う見直しはあるか
- (4) 市の最上位計画として各種計画の基本となる、しっかりとした全体像と地区割を考えているか

3 市内進出企業等の動向と計画の把握について

コロナ禍など不安定な経済・社会情勢の中、千葉ニュータウン事業の終了に伴う短期間の広大な分譲用地で、現在も多くの企業進出、住宅建設、新規開業等が続いています。市内のこうした企業動向について、市として把握し、計画的なまちづくりを進める必要があります。そこで伺います。

- (1) 新規進出企業について
- (2) 開業等の状況とコロナ禍の影響について
- (3) 住宅建設・販売等の動向について

4 市の歴史資料の保管と活用について

古くからこの地に根付いてきた人々の暮らしや文化を伝える歴史資料等は、現在、未来の市民にとって、市の成り立ちや変遷、人々の生活等を、書物の上ばかりでなく、目の前で生き生きと再現してくれる貴重なものです。一度失われてしまうと、復活させるのは並大抵なことではありません。

板倉市長は先の所信表明で、「地域の文化・芸術の支援」を掲げ、「古くから伝わる地域の宝である有形・無形の文化財を保護すると共に、地域文化、芸術の活動を支援していく」と述べられています。こうした貴重な歴史資料を、どのように保管し、市民のために有意義に活用していくのか、市の考えを伺います。

- (1) 木下交流の杜歴史資料センターの現況と活用方針
- (2) 印旛歴史民俗資料館の現況と活用方針
- (3) 大森歴史資料保管庫の現況と活用方針
- (4) そうふけふれあいの里展示資料室の現況と活用方針
- (5) 歴史資料の保管活用に関する公共施設の適正配置計画について